

共用品推進機構だより 2016年07月15日(15)

目次

(70) 共用品推進機構関連記事

- ▽「さまざまな壁を超えた『ダーツ競技』
より多くの人が使えるモノ・サービス／星川安之」

(71) 賛助会員ニュース

- ▽「バリアフリー構築支援 障害者目線で課題分析／大日本印刷」

(72) 製品関連記事

- ▽「片手で付けられる血圧計／シチズン・システムズ」
- ▽「ティッシュ感覚、付箋ケース／スリーエムジャパン」
- ▽「スマホで操作の炊飯器／三菱電機」

(73) サービス関連記事

- ▽「対話を円滑に／静岡銀行」

(74) 行政関連記事

- ▽「温泉マークに人の姿 案内図記号 国際規格に／経済産業省」

(75) 新刊紹介

- ▽『実践をふまえた現場に役立つ特別支援教育の授業案づくり』
- ▽『発達障害児の発達支援と子育て支援
つながって育つ・つながりあって育てる』
- ▽『障害者総合支援法事業者ハンドブック 2016年版報酬編
報酬告示と留意事項通気』

(70) 共用品推進機構関連記事

▼「さまざまな壁を超えた『ダーツ競技』

より多くの人が使えモノ・サービス／星川安之」

1月最後の日、杉並にある区民センターは、多くの人たちの熱気で包まれました。この日、公益社団法人日本ダーツ協会主催の「日本障がい者ダーツ選手権大会」に、全国から選手が集りました。参加する資格は、「障害者手帳を持っていること」のみ。

熱気は選手だけでなく、多くの人によって作られ、「一体化」という言葉が最もふさわしい時間と空間が広がりました。

杉並区で活躍するNPO団体が、自分たちの活動を紹介する催しでのこと。そこには、少し低い位置の的、マグネットの矢を受け止める的、そして何より驚いたのは、床に広げられた的があったことです。「これは、矢を投げるのが困難な人も、ダーツを楽しんでもらいたいと考案されたものです」と、プロップKというNPOの代表を務める石山恵子さんが説明してくれました。

私が共用品・共用サービスの普及を仕事としていることを話したところ、お誘いを受けたのが、冒頭の大会です。

ダーツは、発展の過程で多くの人を仲間にしてきました。その仲間とは、年齢、性別、障がいの有無など多くの壁を取り除いた仲間であることを強く感じました。

是非、ダーツを行ってみてください。いろいろな壁が取り除かれ、楽しい世界が現れるはずです。

(福祉介護テクノプラス 4月号より抜粋)

(71) 賛助会員ニュース

▼「バリアフリー構築支援 障害者目線で課題分析／大日本印刷」

大日本印刷は、地域のバリアフリー環境構築を手伝うコンサルティングサービスを始めると発表した。バリアフリーの環境調査をして、施設や空間の企画設計・施工を手助けする。生活者の利便性の向上につながるとして、

企業や商店街、自治体などに調査結果を提案する。

実地調査では、障害者も参加してバリアフリーに対応しているかどうかを調べる。車いすで通行できない場所や、高くて手が届かない場所など、障害者の視点で現状の課題を分析する。実地で調べた結果を基に、地域や施設の改善方法の報告書を作成する。

調査結果を基に、施設の内外装の企画や、設計、実際の施工まで行う。大日本印刷が手掛けている建材や、バリアフリー対応の電子看板（デジタルサイネージ）なども提案する。

（日経産業新聞 7月11日9面より抜粋）

（72）製品関連記事

▼「片手で付けられる血圧計／シチズン・システムズ」

片手で簡単に巻けるハードカフ（腕帯）を採用。空気袋を2層にするなど構造も工夫し、様々な太さの腕にフィットするようにした。測定結果も安定するという。測定値は6段階で分類を表示し、血圧レベルをひと目で確認できる。

（日経MJ 7月8日12面より抜粋）

▼「ティッシュ感覚、付箋ケース／スリーエムジャパン」

付箋ケース「ポスト・イット強粘着ポップアップノートディスプレイ」。置き型タイプで、ティッシュを取り出すように1枚ずつ付箋を取り出せる。適度な重みを持たせて、片手で取っても本体が持ち上がらないようにした。側面が空いているため、簡単に詰め替えられる。30枚の付箋付き。

（日経MJ 7月8日12面より抜粋）

▼「スマホで操作の炊飯器／三菱電機」

三菱電機はスマートフォン（スマホ）で操作できるIHジャー炊飯器「備長炭 炭炊釜 NJ-VA 107形」を21日に発売する。専用アプリを使いタッチ入力や音声入力によって炊飯時間の設定などができるため、視覚障害者などにとって使いやすくしている。

米の 10 銘柄から好みのものを選んでスマホを炊飯器にかざせば、米の特性を引き出す最適な炊きあがりができる。レシピサイトとも連動し、スマホでレシピを選択し炊飯設定ができる。

(日経産業新聞 7月8日 12面より抜粋)

(73) サービス関連記事

▼「対話を円滑に／静岡銀行」

静岡銀行は高齢者や難聴者が対話しやすくするシステムを一部の店舗に導入した。資産運用の相談などの際に数字や名前の聞き間違い、誤解を防ぎ、円滑に対話できるようにする。京都銀行や徳島銀行など金融機関での導入が広がっている。

音響機器開発のユニバーサル・サウンドデザインが開発した卓上型対話支援システム「コミュニケーション」を使う。専用のマイクとスピーカーを通じると「加藤」と「佐藤」など、聞きづらい子音の区別がしやすくなるという。音声声を大きくする機器ではなく、周囲に聞かれる心配もないという。4月に障害者差別解消法が施行されたことなどを背景に、バリアフリーに配慮した取り組みを進めている。

(日経MJ 7月8日 9面より抜粋)

(74) 行政関連記事

▼「温泉マークに人の姿 案内図記号 国際規格に／経済産業省」

経済産業省は、外国人観光客が移動などで困らないよう、施設の場所などを示す案内用図記号を国際規格にそろえる方向で検討を始めた。2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、誰でも一目で位置が分かる環境を整備する。無線LANが利用できる場所や祈とう室を示す図記号約40種類も追加したい考えだ。

日本工業規格(JIS)にはトイレやエレベーターといった約140種類の案内図記号があるが、半数は国際標準化機構(ISO)の規格とデザインが異なり、

温泉や案内所など外国人に伝わりにくいものも含まれるという。
(毎日新聞 7月8日4面より抜粋)

(75) 新刊紹介

▼『実践をふまえた現場に役立つ特別支援教育の授業案づくり』

特別支援学校の小学部、中学部、高等部の8つの実践をふまえた、現場にすぐ役立つ授業案づくりの手順を丁寧かつ明快に解説。ポイントやキーワードを欄外に示し、授業案の推敲過程が before/after でわかる。

監修：太田正己（おおた・まさみ）

編著：高橋章二（たかはし・しょうじ）

発行：黎明書房

本体価格：2200円（税別）

ISBN：978-4-654-01929-8

▼『発達障害児の発達支援と子育て支援

つながって育つ・つながりあって育てる』

乳幼児期から学童期まで、葛藤を抱えながらも仲間とともに育っていく発達障害児への発達支援、その保護者への子育て支援の取り組みと課題を、第一線の研究者と実践者・保護者が描き出す。

編著：瓜生淑子（うりう・よしこ）西原睦子（にしはら・むつこ）

発行：かもがわ出版

本体価格：2500円（税別）

ISBN：978-4-7803-0830-3

▼『障害者総合支援法事業者ハンドブック 2016年版報酬編

報酬告示と留意事項通気』

指定障害福祉サービス、指定通所支援、指定入所支援、指定相談支援の報酬に係る算定基準について、報酬告示、関係告示、留意事項通知を対応させて3段対照形式で見やすく掲載。内容は平成28年6月1日現在。

発行：中央法規出版

本体価格：4000 円（税別）

ISBN：978-4-8058-5378-8

（編集後記）

先週末、長野で日本福祉大学の通信教育のスクーリング講座を担当させて頂きました。いつもは自分の担当講座ことで手一杯ですが、今回は参考として置いておられる関連の学習図書にも目を通すことができました。大学生が使っている図書にはなかなか目を通す機会がありませんが、大変勉強になることが多く参考になりました。今の小学校や中学校の教科書も、時々のもぞいてみると、今の学習の仕方が分かり、現役時代のあの頃と違った視点が生まれるように思います。機会がありましたらご覧くださいませ。（森川美和）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>